

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆鉱工業生産指数、4月0.9%低下 3カ月ぶりのマイナス

・経済産業省が発表した4月の鉱工業生産指数(2020年=100、季節調整済み)速報値は101.5となり、前月から0.9%下がった。生産用機械工業や自動車工業を除く輸送機械工業が振るわず、3カ月ぶりのマイナスとなった。全15業種のうち6業種が低下し、8業種が上昇、1業種が横ばいだった。生産の基調判断は前月の「一進一退」を据え置いた。

◆高齢求職者が4月最高水準 年金抑制の影響も

・厚生労働省が発表した一般職業紹介状況によると、4月に新規求職者として申し込んだ65歳以上の高齢者は12万3179人だった。前年同月より5.6%増え、記録がある1997年以降で最多となった。物価高が続くが、年金額の伸びは抑えられている。不足する生活費を補うため働こうとする動きが広がっているとみられる。

◆4月の有効求人倍率、1.26倍で前月比横ばい 厚労省

・厚生労働省が発表した4月の有効求人倍率(季節調整値)は1.26倍で、前月比横ばいだった。大阪・関西万博の開催に伴う警備ニーズの高まりなどで求人が増加した一方、物価上昇を背景に複数の仕事を掛け持ちしようとする求職者も増えた。総務省が同日に発表した4月の完全失業率(季節調整値)は2.5%で、前月比横ばいとなった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆東京・江戸川区、75歳以上世帯にエアコン代5千円補助 熱中症対策

・東京都江戸川区は75歳以上の高齢者がいる世帯に7～8月のエアコン代として5000円を補助すると発表。約7万世帯が対象になり、所得制限はかけない。エアコンを使わずに熱中症で亡くなる人が相次ぐなか、積極的な利用を呼びかけ。熱中症で救急搬送される人が多い午前11時～午後3時台の5時間分にかかる電気代を2カ月約7000円と試算。

◆日本製鉄、電炉に8600億円 脱炭素へ八幡地区など3カ所で導入

・日本製鉄は電気を使って鉄を溶かす電炉の導入計画が政府の支援事業に採択されたと発表。総投資額は8687億円で、うち2514億円は政府の補助金でまかなう。CO2の排出量が多い高炉を巡っては、JFEスチールも3294億円(補助金含む)を投じて電炉への転換を決めている。鉄鋼各社で生産プロセスを電炉に転換する脱炭素の取り組み進む。

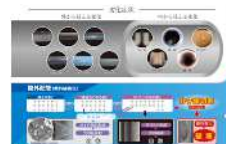
◆電子部品出荷額、24年度は過去最高 3%増の4.5兆円

・電子情報技術産業協会(JEITA)は30日、2024年度の日本企業の電子部品出荷額が4兆5323億円だったと発表した。前年度比では3%増え、統計を開始した14年度以降で最高を更新した。日本と中国を除くアジア向けが大きく伸び、為替が円安で推移したことで輸出が多い電子部品メーカーに追い風となった。

《 注目商品 》

■積水化学、「一般用硬質ポリ塩化ビニル管 屋外紫外線劣化推定」ツール

・設置場所や年数など、屋外配管の利用条件から塩ビ管の紫外線劣化状況を推定する計算ツールを新たに公開。お客様自身が劣化状況を簡易的に確認できるため、本格的な調査や更新工事を行うかどうかの判断材料として有益なツール。



■YKKAP、門扉シリーズをリニューアル

・「エクステアラ」「ルシアス」「シャローネ」門扉シリーズの31デザインに電気錠「ポケットキーシステム」を搭載。同社の玄関ドアで多く採用されているスマートコントロールキーとの連動で、門扉と玄関ドアを1つの鍵で施解錠できる。



■永大産業、フロートデザインの造作風洗面に「アンダーボウル」

・フロートスタイルの造作風洗面化粧台「アクアージュsai」「アクアージュフロート」に、機能的な「アンダーボウル」を追加。容量が大きく使いやすいボウル形状と、カウンターとボウルに段差がないシームレス仕上げの「アンダーボウル」をラインアップ。

